

# 真の高性能バイアル

一貫性と不活性度が生み出す大きな価値

## 新しい Agilent A-Line バイアル

たゆまぬ革新から生まれた Agilent A-Line バイアルは卓越した分析性能を実現し、ラボの成果を高めます。

### Agilent A-Line バイアルの特長: 確かな性能が貴重なサンプルを守り、分析精度を向上

- **時間を大幅に節約:** 再分析の回数を劇的に減らせます。
- **スループットを向上:** 表面の優れた不活性度により、ピーク強度のばらつきが抑えられます。結果の信頼性が高まり、再分析の必要性も軽減されます。
- **一貫した回収率:** バイアル間およびロット間一貫性を実現し、優れた性能が長期にわたって維持されます。低濃度の成分もきわめて高精度で測定できます。
- **コストを削減:** 予定外のコスト (トラブルシューティング、再分析、ダウンタイムなど) を大幅に抑えます。最大 **25%** の節約が可能です。
- **厳しい規制環境にも適合:** バイアルの適合性を示す詳細データをご確認いただける分析証明書が付属しています。
- **シンプルな製品体系:** A-Line バイアルは、2 mL オートサンブラキャップを含む幅広いキャップに対応しています。

A-Line バイアルと他社 MS 品質証明書付きバイアルの性能比較データ、製品情報、およびプロモーション情報については、

[www.agilent.com/chem/vialsresources](http://www.agilent.com/chem/vialsresources) をご覧ください。



#### 完全性と一貫性の証明

ISO 9001 認定施設で生産され、汚染を防ぐ製造/包装がなされていることを示す証明書が付属しているのは、アジレント認定バイアルだけです。アジレントのニードルおよびシリンジによる貫通試験と自動視覚システムによる検査の実施、オートサンブラのグリップおよび注入メカニズムへの適合性も証明されています。

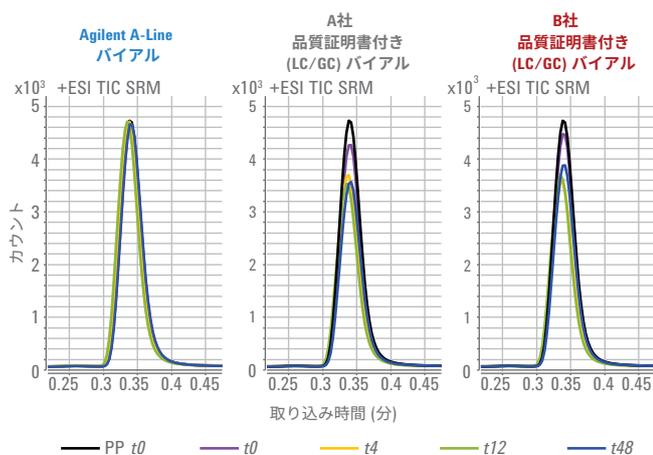
## 他社製バイアルとの性能比較

低品質のバイアルは、サンプルの損失、汚染、オートサンプリングの破損などさまざまな問題を招きます。

A-Line バイアルには、第1級の耐加水分解性のタイプIホウケイ酸ガラス(膨張係数(COE): 51)のみが使用されており、きわめて不活性に優れています。厳格な品質管理と製造プロセスにより、バイアル間およびロット間のばらつきが最小限に抑えられ、優れた性能が長期にわたって持続します。



## Agilent A-Line バイアル: 長期にわたって成分の完全性を維持



ドキシセピンの分離結果から、Agilent A-Line バイアルが成分の完全性の維持性能に優れていることがわかります。

注: テストはアジレントが実施しました。

## 製品情報

製品名	部品番号
A-Line スクリューバイアル、2 mL、透明、ラベル付き、100 個	5190-9589
A-Line スクリューバイアル、2 mL、茶色、ラベル付き、100 個	5190-9590
A-Line クリンブバイアル、2 mL、透明、ラベル付き、100 個	5190-9591
A-Line クリンブバイアル、2 mL、茶色、ラベル付き、100 個	5190-9592

## A-Line バイアルの推奨キャップ:

製品名	部品番号
スクリューキャップ、圧着、青色、PTFE/白色シリコンセブタム、100 個	5190-7021
スクリューキャップ、圧着、青色、スリット入り、PTFE/白色シリコンセブタム、100 個	5190-7023*
クリンブキャップ、銀アルミ、PTFE/白色シリコンセブタム、100 個	5182-0552

\*大容量注入に推奨

ホームページ  
[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

カスタムコンタクトセンタ  
**0120-477-111**  
[email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社  
© Agilent Technologies, Inc. 2017-2019  
Printed in Japan, April 1, 2019  
5991-7717JAJP